



もも組だより 11月号



平成29年11月20日 ときわ保育園 担当 齋藤

肌に触れる風もだんだんと冷たくなり、少しづつ冬の訪れを感じる季節となりました。

先日は、お忙しい中、運動会にご参加いただきありがとうございます。アンパンマンになりきって、満面の笑顔をを見せてくれた子ども達は何ともし可愛らしい姿でした。



さて、最近では指先を使った遊びを多く取り入れています。その中の一つ、「紐通し」は、穴の開いたピースに紐を通していく遊びです。少々難しい作業ですが、月齢の高い子は紐の先端を指先で摘み、真剣な眼差しで穴に通そうと頑張ります。その力が入った指先を見ると、「頑張れ！もう少し」と応援せずにはいられなくなるほどです。一つ入るとコツを覚え、一気にピースを上げていきます。時間を忘れ夢中で通した後に見せる表情は、達成感で満ち溢れています。又、そんな姿を月齢の低い子は興味津々で見つめ学んでいます。日々、楽しみながら指先が器用になっていく姿を見ると成長を感じます。室内に飾ってある「ふくろう」の製作も一生懸命ちぎったり、貼ったりして出来上がった作品です。いろいろな表情を見せるその姿は、室内をより一層楽しい雰囲気にしてれています。

生活面では、トイレで排泄出来る子が増えています。出る瞬間は自分で確かめるように下を向き、終わると、「だたよー！」と嬉しそうに教えてくれます。今後のパンツトレーニングに繋げていけるようその子のペースに合わせてすすめていきたいと思っております。

